

平成23年 早春の行事

童話の朗読会（童話作家 福明子先生）



平成23年2月13日(日)、童話作家 福明子先生を招いて、福先生の自作童話の朗読とお話を聞く会を開きました。



当日は、子ども13人を含む67人の参加者が福先生の朗読に耳を傾けました。

また、朗読していただいた童話『ジンと ばあちゃんと だんごの木』にちなんで、雨岳文庫クラブのメンバーが「だんごの木」を作り、飾りました。

初春の梅畑散策路開放

今年は梅の開花が遅くなりましたが、散策路を開放した2月13日には、開花の早い「十郎」は満開となりました。「南高」もかなり咲いていましたが、開花の遅い「白加賀」はまだツボミでした。

今年は、ベトナムやフィンランドからのお客様もありました。



3月上旬には、梅畑の菜の花が咲き始め、2日から菜の花畑の散策を開始しましたが、3月11日の東北地方関東沖地震以降、雨岳文庫の他の行事とともに中止しました。



(追悼文)

雨岳文庫資料館の発展に夢を託して

— 大畑 哲先生 逝く —

安在 邦夫



神奈川の自由民権運動について熱く語られる、在りし日の大畑哲先生

自由民権運動史の研究、なかんずく神奈川県における同運動史の研究に大きな足跡を残されてきた大畑哲先生が、昨年10月2日お亡くなりになりました。享年81歳。連載「自由民権の里」(『厚木革新懇ニュース』)のご執筆に情熱を注いでおられた中でのご他界でした。その完結を楽しみにしていた者として、今もって私は悲しみを表す術を知りません。

自由民権研究に示された先生のご姿勢は、真実魂の入ったまことに見事なものでした。たとえば先生は、無名の民権家黒田黙示の墓碑との出会いを研究の契機とされました。それは、歴史の営みは、壮絶な革命劇、歴史の表層にあらわれた氷山の一角ではなく、深層にある多くの個性を捉えることこそ重要、とする歴史認識に基くものでした。やがて伊勢原の豪農民権家山口左七郎の活動などの検証を通し、神奈川自由民権運動の特色は、平民性・大衆性・合法主義であることを実証され(『神奈川の自由民権運動』・『自由民権運動と神奈川』)、次いで運動家の群像を活写されました(正・続『よみがえる群像』)。

その後先生は、この意義ある歴史の実績を今に伝え活かすべく、記念碑の建立と自由民権資料館の建設に心血を注がれました。そして前者は「自由民権の里」の建碑として(2004年、厚木・戒善寺)、後者は「雨岳文

庫資料館」の開館(2008年)として結実しました。館建設前先生は、「資料館の建設は、神奈川県下で初の民権資料館として、開館の暁には大きな反響を呼ぶであろう」(『神奈川自由民権探索』)と、その抱負を述べておられます。先生の想念を噛みしめ、先生のご冥福をお祈りしつつ、今研究への思いを新たにしています。

大畑 哲 氏

雨岳文庫資料館初代館長 大和、座間、綾瀬市元市史編纂委員

「山口左七郎と湘南社」(まほろば書房)、「自由民権運動と神奈川」(有隣新書)など著書多数

昨年10月、当会の初代資料館長の大畑先生がお亡くなりになりました。大畑先生が最初に山口家においでになったのは昭和28年頃でした。当時は20歳代だったと思いますが、それより50年余に亘り足しげく我が家に通われ、暮れの大掃除の雑然とした中、あるいは、暑い夏休みの蔵の中で、熱心に山口家所蔵の「自由民権資料」の整理をなさってこられました。その成果は数々の著書に発表され、平成10年には雨岳文庫資料集第一集として、『山口左七郎と湘南社』を出版されました。また、平成20年には資料館第一回企画展示『自由は大山の麓より一湘南社の人々の活動』を開催。その後、日本学術振興会の科学研究補助金費を神奈川工科大学の申請により受け、同大学のサーバーをお借りして、「雨岳文庫自由民権資料」の全てをデジタルアーカイブとして当会のホームページ等に公開することになり、一部の公開を始めております。

ここに、大畑先生を偲んで、著名な自由民権研究家であって当会会員でもある、早稲田大学名誉教授 安在邦夫先生に追悼文を寄せていただきました。 <山口匡一 記>

相模人形芝居（国の重要無形民俗文化財） 林座の公演

今年も、厚木の『林座』のみなさんによる、相模人形芝居(国重要無形民俗文化財)の公演と人形とのふれあいの会がもたれました。演目は「三番叟」と、「壺坂霊験記」でした。



【2月以降の雨岳文庫活用団体の行事等】

○福祉法人「つくし」昼食・見学

2月15日、福祉法人「つくし」の方々が入館され、昼食・資料館の見学とともに、梅園の散策や水琴窟の音を楽しんでいただきました。（入館は、引率の方を含めて23人）



○「市民大学」入館

2月16日、伊勢原市の市民大学が入館されました。引率は、いせはら観光ボランティアガイドツアー&ウォーク協会（当会団体会員）（入館は、引率の観ボラを含めて38人）

○春の観ボラウォーク（梅の花見・昼食）

2月24日、伊勢原市の観光ボランティアの方々がお見えになりました。小雨模様でしたが到着少し前から薄日が射しました。観ボラより甘酒が、雨岳文庫クラブ手作りのたくあんとお茶などが供されました。

○「苺の会」のチャリティバザー

3月2日、観梅の開園にあわせて福祉団体（NPO法人）「苺の会」によるチャリティバザーが離れて行われました。チャリティバザーは6日まで行われ、初日から大勢のお客さんが見えました。

主屋でのお茶サービスのピールも好評で、お客さん方に原料の八朔をお持ち帰りいただきました。



- 伊勢原ウォークのみなさん（1/12）、中区社会教育担当者のみなさん（2/1）が資料館を見学されました。
- また、歴史アドバイザー（1期生）の研修会（2/4）や横浜コートハウスの蕎麦打ち会（1/23）が、雨岳文庫を利用して行われました。

東日本大震災のため、 4月までの行事を中止しました

3月11日に発生した東北地方東関東大地震により東北地方や東関東を中心に大きな被害が出ました。その後も余震や放射能の飛散に不安があることや参加者・関係者の精神状況を踏まえ、4月いっぱいはずべての行事を中止することとしました。

被害にあわれた方々にお見舞い申し上げますとともに、被害地域が早く復興できることを心よりお祈りします。

中止した主な行事

- 子供のための茶道教室
- にほんみつばちのお話と巣箱作り
- 子供のための筍山遊び

今後の行事予定(5月～)

①東農大生向けの

「お茶を摘んで、焙炉(ほいろ)でお茶作り」
(東日本大震災で被災された方や関係者も参加できます)

・5/8(日) 9:30～16:00頃

②NPO 総会

・5/14(土) 13:30～(役員会を午前中に開催)

※ 一般の会員は午前中、Dお茶摘み出来ません

③近隣の人を誘って、お茶摘み

・5/15(日) 9:00～16:00頃(時間は自由)

※ 摘みだけです

※ 見学のみも可能です

申し込み、お問い合わせは
雨岳文庫へ(95-0002)

神奈川県立公文書館より資料戻る

昨年末より公文書館で整理していただいた資料が戻ってきました。農林省総合研究所より戻ってきた資料が主ですが、地代官所に関係して面白い資料もあるようです。

出張報告

I 大山道関連講演会への出席

(開成町「あしがり郷瀬戸屋敷」)

- ① 期日 3月8日
内容 講演「矢倉沢往還」
講師 柏木実氏
・柏木氏がいままでに歩いた矢倉沢道の見どころの紹介と周りの話題をパネルと写真で紹介
出張者 山口匡一
- ② 期日 3月23日
内容 講演会「足柄古道…古代の官道」
講師 足柄の歴史再発見クラブ
出張者 アドおおやまみち 宮崎、田中、川上、沖山、雨岳文庫 山口
- ③ 期日 3月25日
講師 武勝美氏(まほら秦野みちするべの会)
・武氏による(秦野側を主体にした)大山道の話
出張者 アドおおやまみち 宮崎、西部雨岳文庫クラブ 田部井、山口

II 建物公開手法等の視察

(白洲次郎邸/武相荘)

期日 4月9日

内容 建物公開を中心に見学

出張者 山口匡一ほか3人

【ミツバチの花畑の行事予定】(伊勢原市西富岡外堀)

- | | |
|------|---|
| 5/15 | ヒマワリの種蒔き |
| 6/5 | 菜種刈り取り |
| 6/26 | 小麦刈り |
| 7/10 | 小麦脱穀 |
| 7/17 | 東農大生向け、小麦脱穀のデモンストレーション、うどん打ち体験 |
| 7/24 | 東農大生向け、“くるり”による菜種脱穀、菜種の油搾り
(一般参加も可：詳細は後日連絡します) |

今年は美味しいハチミツがとれるといいですね!

